



学校教育目標 心豊かで、自主性に富み、創造的で、未来を切りひらく生徒の育成  
校訓 「自主・創造・敬愛」 R2. 2. 4発行 文責 校長 松崎大樹

### 今週から令和2年2月に突入! この新しい年の1ヶ月の中にも 生徒達のたくさんの学び、表現の場がありました。

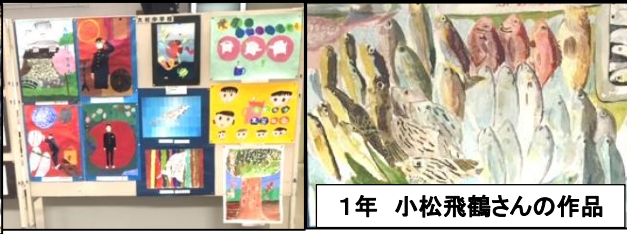
#### 1/14(火)第2学年高校説明会開催



大村市内の大村高校、大村城南高校、大村工業高校、向陽高校の4つの高校の先生方をお招きし、第2学年全員を対象に高校説明会を実施しました。いよいよ1年後にせまってきた進路決定と高校受験。様々な高校の特色や進学・就職状況を知ることで、進路に対する意識を高め、日々の学習にしっかりと生かしてもらいたいものです。

また、令和2年度からは新しい公立高校入試選抜制度が開始されます。詳しい情報を生徒達にできるだけ早く提供する中で、確かな進路指導にこれからも努めていきます。保護者の皆様と共に良き教育環境を作っていきます。

#### 1/16(木)~21(火) チャレンジ作品展開催



1年 小松飛鶴さんの作品



大村市内の小、中学校などの特別支援学級で学ぶ児童・生徒の作品を展示した「チャレンジ作品展」(大村市教委主催)が大村市コミセンCC34で開催されました。創造性豊かな工作や絵画、書、手芸等がたくさん展示されており、訪れた市民の皆様のお目を楽しませていました。

本校の生徒達も、これまでの学習の成果を結集した力作をたくさん出品して、高い評価を得ていました。素晴らしい作品制作、大変お疲れ様でした!

#### 1/23(木) 人権集会開催



今年も大村中学校をたくさんの方々に支えてもらっています。感謝、感謝です。



今年も季節の花々を素敵な生け花として届けてくださいました。ピンク色のチューリップがとても可愛いです。大村中 元養護教諭 増田祥子 様



登校後、朝の清掃活動を行ってくれた2年福嶋さん、長畑さん、堺さんの三人組



校舎内に定期的に掲示しています「朝日写真ニュース」の1年間の寄贈をいただきました。新樂寺住職 木山 真英 様

今回の2・3年生対象とする「人権集会」は、本校出身の溝上良太さんも活躍する車椅子バスケットチーム「長崎サンライズ」のみなさんをお招きして開催しました。大変貴重な機会を生徒達にはいただいたと思います。

生まれながらにして、また人生の途中の病気や事故により、障がいを負うことになられた選手の皆様。その時の思いを赤裸々に語っていただくと共に、車椅子バスケットに出会った時の喜びやお互いの多様性を理解する中での車椅子バスケットのスポーツとしてのおもしろさ等をじっくりと学ばせていただきました。

これから生きようとする社会では、自分と異なる立場の方々を手を取り合い、協働する中で、様々な課題を解決していくことが期待されています。

生徒達にとっては、一人一人の人権、そして、自分の生き方について考える良き時間になったことと思います。

#### 生徒達の感想から(一部を抜粋しています)

講話では、全ての話が深く、考えさせられるもので、特に健常者・障がい者の呼び名に疑問を持っているという話は、今までの考え方が変わる少し衝撃的なものでした。五体満足な人が圧倒的に多いから、それが「普通」と呼ばれているだけのことであって、もしハンディを持つ人が多くなれば「障がい者」という言葉は生まれなかったのではないかと意見を聞いて、本当にその通りだと思いました。そういう言葉は、日常の生活に手助けがいる人を特別視したものであり、本当はその他大勢の人と変わらない一人の人間だということを否定してしまっているようにも感じました。3年 峰 綾音

講話では、当事者としての思いについて深く考えることが出来ました。「身体の不自由な部分はその人の個性だ」と認識すべきで、それがその人の代名詞になってはいけない。「不自由ではあるけど短所ではない。」等、今まで理解できていなかった部分も少しだけわかるようになりました。今回の人権集会で学んだことは「大事なものは答えを出すことではなく、考えること。」ということです。考えれば、理解が深まり、一切の差別や偏見がなくなると思っています。自分たちは、これから「誰もが暮らしやすい社会」を作っていく必要があると感じました。3年 高尾悠人

※裏面にも続きます。どうぞ一読ください。

# 今週から令和2年2月に突入！この新しい年の1ヶ月の中にも生徒達のたくさんの学び、表現の場がありました。 その2

1/29(水) 第1学年「総合学習発表会」を開催！



自然環境コース

歴史コース

文化芸能コース

文化芸能コース

偉人コース

食文化観光コース

自然環境コース 掲示物1

自然環境コース 掲示物2

第1学年では、総合的な学習の時間において、学級の枠を超えた「大村の自然環境コース」・「大村の歴史コース」・「大村の文化芸能コース」・「大村の偉人コース」・「大村の食文化・観光コース」の5コースに分かれ、各自の興味・関心に基づくテーマを設定する中で、課題解決学習に取り組んできました。そして、これまでの各コースの学習の成果を発表・表現する機会を設定することで、生徒一人一人のプレゼン能力を高めるべく、さらにはお互いの学び合いの場、また保護者の皆様への学習成果の発信の場として、「総合学習発表会」を開催いたしました。

どのコースの生徒達も真剣に活動に取り組み、しっかりと発表・表現することが出来たと思います。また、その姿からは、入学してから10ヶ月、1年生のたくましい成長ぶりも感じることが出来ました。

このような学習を通して、大きな社会変化の中にあっても、生徒達が決して夢や希望の実現をあきらめることなく、人々とつながり、自分の夢や希望に向かって力を発揮できる資質・能力を高めてくれればと願っているところです。また、2年生、3年生に進級するに従って、さらに実りの多い「総合的な学習の時間」が繰り広げられるよう生徒達と共に頑張っていきたいと思っています。

また、誠にお忙しい中に、たくさんご来校いただきました保護者の皆様には、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 保護者の皆様へ 子育てについて一緒に考えてみたいこと 「麦踏みと譲り葉」の話から・・・

麦は、春が近づき暖かくなると勢よく芽を伸ばします。

でも、伸び過ぎると寒さにやられたり、根が霜柱で浮き上がったりしてだめになってしまいます。

そこで、そのような害から麦を守り、根張りをよくして、やがて豊かな実を結ぶことができるように『麦踏み』をするのだそうです。はたから見るとずいぶん手荒な感じがしますが、麦が自然の厳しさに耐えて豊かに育つにはとても大切なことなのです。

もう一つ『ゆずり葉』についてです。このゆずり葉には、冬になると葉を散らしてしまう多くの樹木とは違って、春になり若い葉がでた後で古い堅い葉が落ちるという特徴があります。その姿は、まるで我が子の成長を見とどけてから散ってしまうようにも見えます。そんなところからこの名前の由来があり、「親子草」とも言うのだそうです。

一見すると、いかにも対照的な2つの植物の話ですが、子育てについて、私たちに多くのことを教えてくれているように思えるのです。

『麦踏み』は、自然や環境の厳しさに耐えられるように、敢えて試練を与えようとする育て方。

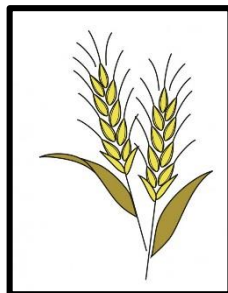
『ゆずり葉』は、親の温かいふところの中で、しっかりとその成長の準備が整うのを待とうとする育て方。

もちろん、この2つの育て方のどちらが良いということではありません。

なぜなら、どちらの育て方の中にも、我が子の健やかな成長と豊かな実りを願う親心がしっかりと流れているのが伝わってくるからです。

『麦踏み』に学び、『ゆずり葉』に学ぶこと……

それは、現在の子どもたちの状況、子どもをとりまく環境をふまえるならば、「ゆずり葉の思いを子どもにもしっかりと伝えつつ、時に麦踏みをも辞さない」という親として、教師としての覚悟を持って、日々の子育て、教育にのぞむ。“ということではないでしょうか。



先輩教師からいただいた話を思い出しながら、親としても、教師としても、大切なことだなと思った今日この頃でした・・・。

## これからの 学校行事について 2月

- 5日(水) 公立高校推薦検査
- 6日(木) 部活動中止  
(13日まで)
- 7日(金) 2年生立志式
- 11日(火) 建国記念の日
- 12日(水)～14日(金)  
全学年学年末テスト
- 19日(水) 生徒集会
- 20日(木) 学年学級PTA(1・2年)
- 23日(日) 天皇誕生日
- 24日(月) 振替休日
- 28日(金) あおば教室修了式

## 3月

- 9日(月) 公立高校受検指導
- 10日(火)～11日(水)  
公立高校学力検査
- 17日(火) 第34回卒業式
- 18日(水) 公立高校合格発表  
小学校卒業式  
全校学級専門委員会
- 20日(金) 春分の日
- 24日(火) 修了式・離任式

